

## ●基本的な考え方

富山駅から西町にかけての既存の商業施設、公共施設と競合しない。

人が集まる目的を明確にする。

何を造るか、ではなく、何をするか。

## ●コンセプト：自分の庭と思える空間

なぜ庭なのか：市内にマンションが増えている。

一戸建てでも庭のない家が増えている。

庭があっても維持管理が大変である。

庭を楽しむ精神的、時間的余裕がウエルビーイングにつながる。

世代を超えて集まることができる。

## ●何をする：自分の庭で育てる。遊ぶ。学ぶ。

家庭菜園として野菜を育てる。

庭を眺めて、歩いて楽しむ。

育てる楽しむを通して学ぶ。

## ●旧 NHK 跡地エリア：家庭菜園

多くの人、初心者でも栽培できるようプランターを基本とする。

四季を通して、天候に関係なく利用できるようプレハブやハウスとする。

プランターでの少量栽培のため肥料等は量り売りとする。

初心者でも楽しめ、荷物も多くなならないよう道具はレンタルとする。

栽培について農協からのアドバイスを受けられるようにする。(農協連携)

アドバイスは施設利用者以外でも受けられるようにすることで来訪者を増やす。

農業系の高校生とも連携する。(高校連携)

頻繁に世話ができない利用者のためにシルバー人材センターとも連携する。(シルバー人材センター連携)

栽培されている作物を使ったアイデア料理紹介コーナーを作る。(料理愛好家連携)

栽培されている作物を使ったアイデア野菜ジュース紹介コーナーを作る。

富山県内で作られている珍しい作物のチャレンジコーナーを作る。

中学生以下のジュニアコーナーを作る。

## ●県庁前公園と松川エリア：ベンチ

なぜベンチなのか：歴史ある景観を大きく変えないためには、景観の楽しみ方を提供する。

自宅の庭にベンチを置く感覚。

座りたくなるベンチ。

座ることが目的となるベンチ。

ベンチに物語性を持たせる。

物語性が座ってみたいと思わせる。

物語性とは

製作者の物語---作家

芸術系の学生（富山大学連携）

素材の物語---立山杉、無花粉杉（森林組合連携）

銅器（高岡銅器連携）

アルミ（アルミ企業連携）

リサイクル素材（リサイクル企業連携）

ガラス（ガラス工房連携）

プラスチック（プラスチック企業連携）

形状の物語---井波彫刻の装飾（井波彫刻連携）

錫の変形する装飾（能作連携）

県内15市町村の特徴を表す装飾（自治体連携）

## ●県庁エリア：立ち止まる・屋上庭園・情報コーナー・桜

なぜ県庁が公園とするのか：県庁前で立ち止まる人がいない。

歴史ある石造りの正面玄関を庭の一風景とする。

素通りせず立ち止まることで自分の庭の一風景を楽しむ。

公園とする工夫：県庁には花が咲く樹木が少ないので四季の花が楽しめる樹木を増やす。

県庁前歩道からは桂離宮様のように木々の間から楽しむ。

県庁敷地内からは足立美術館のように庭木と石造りの玄関を絵のように楽しむ。

屋上庭園も活用しベンチの設置。（石造りの県庁に合わせて素材は石）

屋上庭園に15市町村の形をした飛び石の設置。（石造りの県庁に合わせて素材は石）

情報コーナー---庭園の紹介とアクセス紹介

寺---国泰寺、西徳寺、護国寺、光久寺、浄蓮寺等。

施設---水墨美術館、富山城址公園、松桜閣等。

その他：桜---富山で発見された新種を植樹し富山ならではの花見。

コシノフユサクラ、ヒミクヅロキクサクラ、ツルギオリトキクサクラ等。

## ●育てる

自分の庭感覚で家庭菜園として栽培を楽しむ。

## ●遊ぶ：家庭菜園やベンチからの風景

俳句、川柳、短歌を作る。（カルチャーセンター連携）

なぞかけを楽しむ。

スケッチを楽しむ。

## ●学ぶ

育てること自体を学ぶ。

育てる過程から食物の大切さを学ぶ。---食品廃棄を考える。

連携することで人のつながりを学ぶ。

カルチャーを学ぶ。

## ●その他の効果

庭の緑が増えることでカーボンニュートラルになる。

庭で子供が遊ぶことで子育て支援となり人口減対策となる。

庭で散歩することで運動になり健康寿命が向上する。

富山駅前と中心部の中継地点に散歩の休憩地としての庭となる。周遊性が高まることで観光客が増える。

家庭菜園を楽しむことで就農意識が高まり就農人口増加につながる。

家庭菜園を楽しむことで食品ロス削減の意識が高まる。

家庭菜園がSDG sにつながる。

県庁に注目することで県政への関心が高まる。

自治体、団体や学生、多くの企業等と連携することで県民の意識が高まる。

連携の輪を広げることで人の交流が生まれる。

山間部への移住でなくとも庭や家庭菜園が気軽に楽しめることで県外からの移住促進につながる。

ジュニアコーナーを作ることで農業への関心が高まる。

## ●一帯の名称：マニワチ

街の中に庭があることを表す。

## ●最後に

10年後、20年後さらにその後、賑わい創出になりカーボンニュートラル、SDG sを考え、人口減対策になり、

ウェルビーイングにつながる存在が「庭」です。

以上